

青薔薇姫

成人向



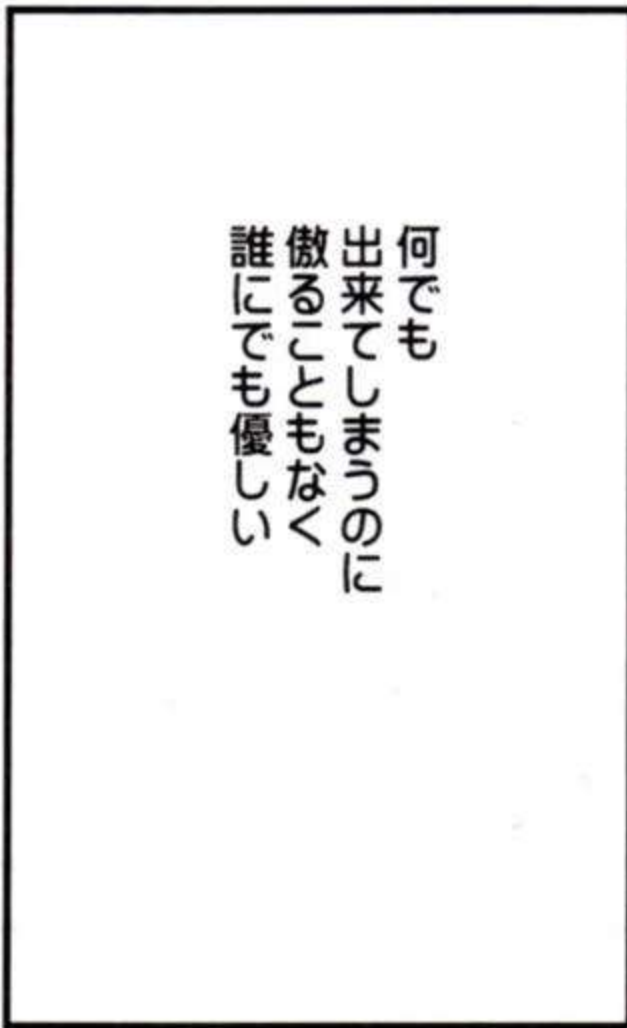
青薔薇姫

成人向





皆の王子様



何でも
出来てしまうのに
傲ることもなく
誰にでも優しい

私にとって
あなたは太陽

蕾



誰よりも
色々なものに
恵まれた人



側で見ているよ

自分との差を
大きく感じてしまう



だからこんなことは

ありえないと
思っていた



きっともっと
相応しい人が...

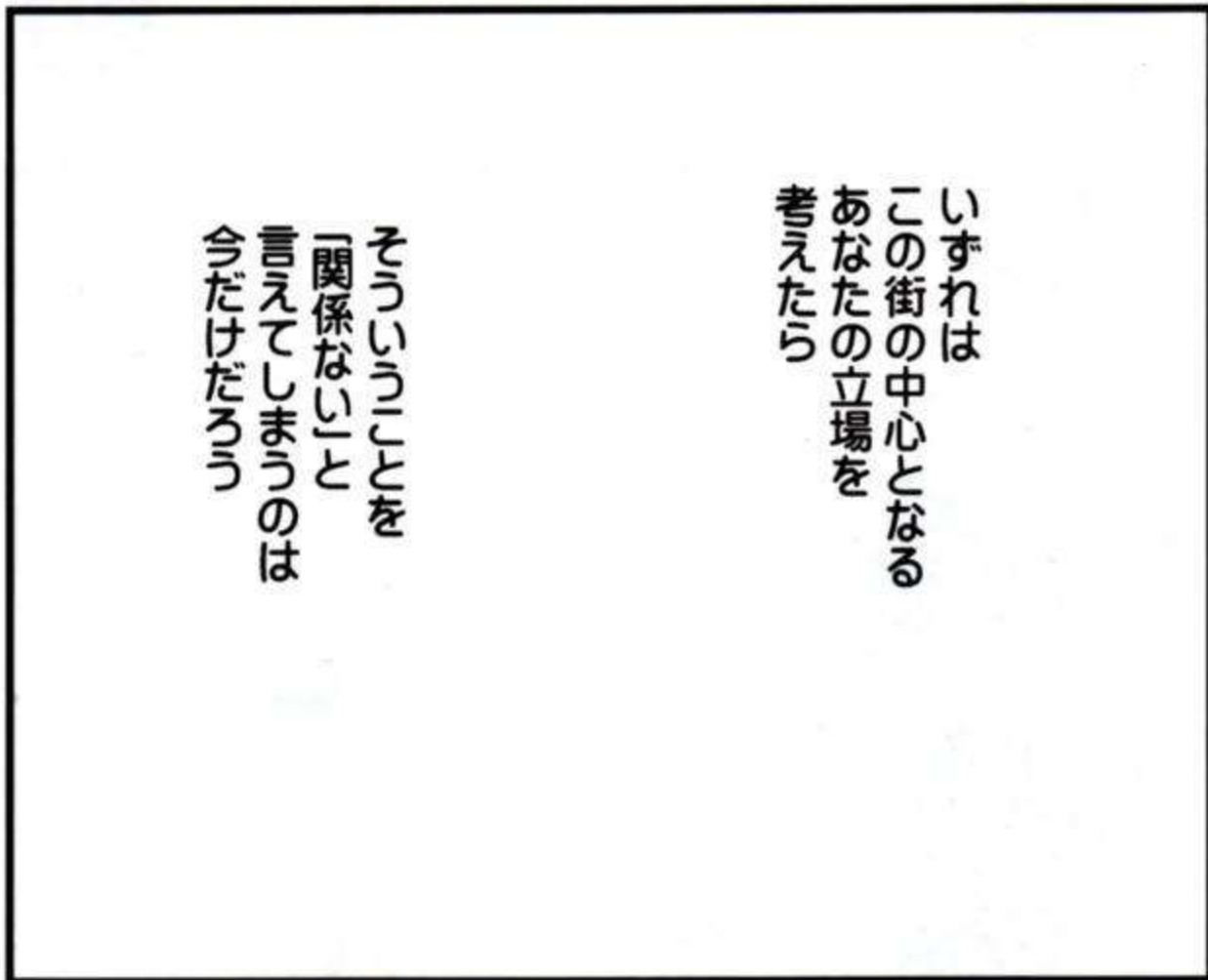


...私で
いいの？

何が？

だって

あなたとは
種族も違うし



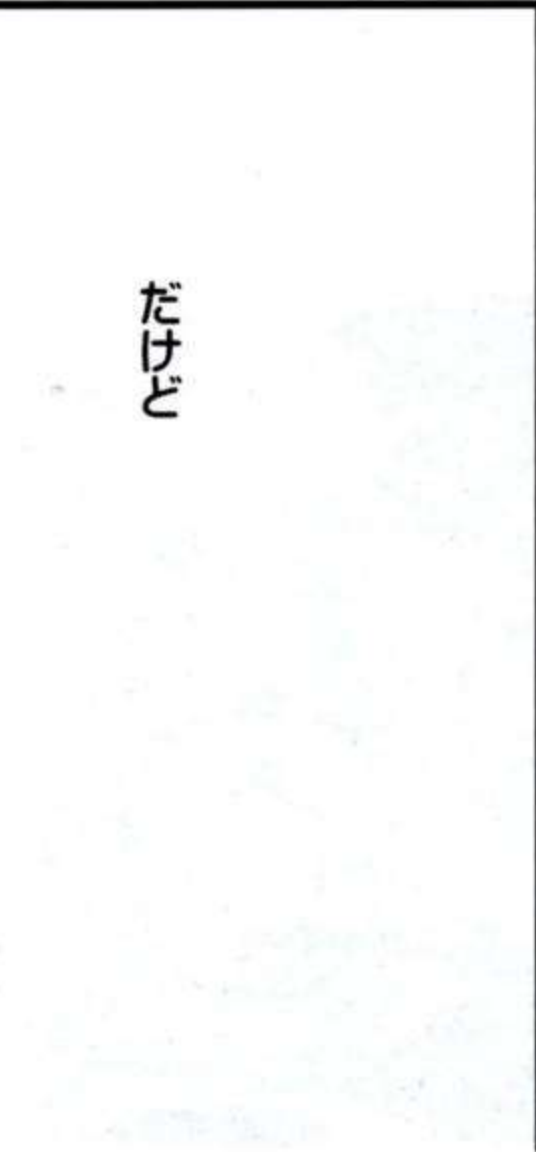
いずれは
この街の中心となる
あなたの立場を
考えたら

そういうことを
「関係ない」と
言ってしまうのは
今だけだろう



そういうのは
関係ないよ

4



だけど



だからきこと
これは
ほんの短い間の関係を
暗に求められている





君は本当に

キレイだね

!!

……

……

か
あ
あ

何
言
つ
て
る
の
よ……っ

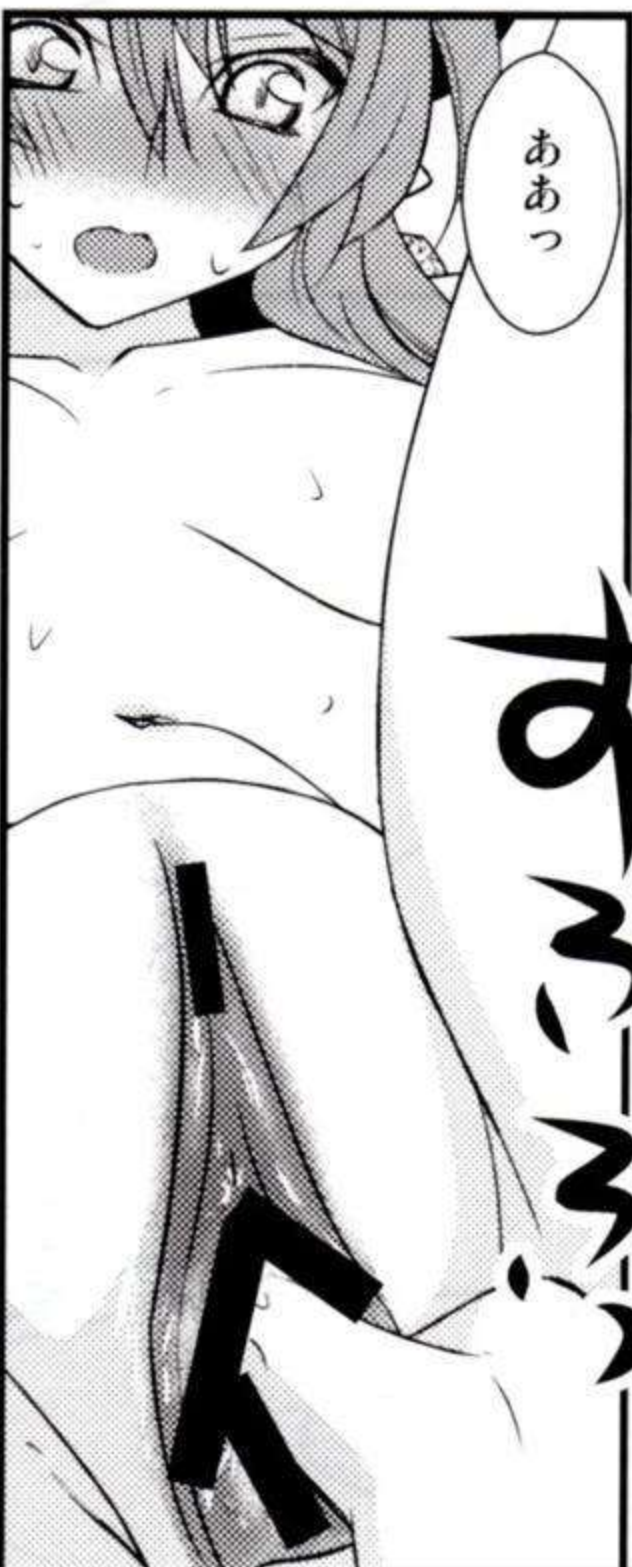
：
恥
ず
か
し
い
？

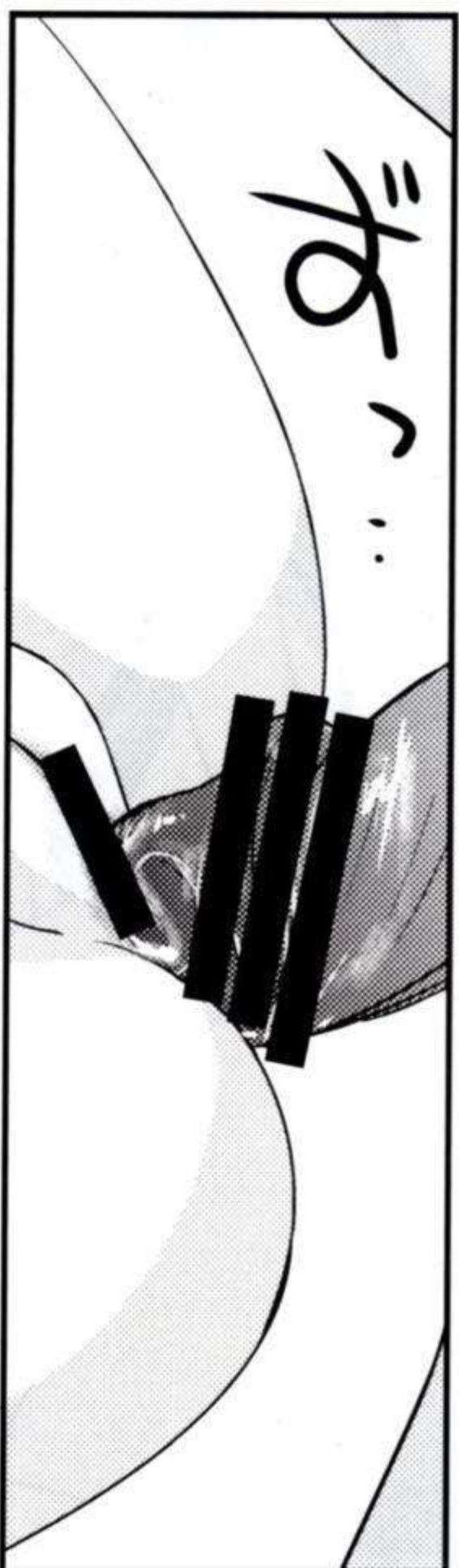
あ
っ

当
た
り
前
で
し
よ
う
っ

は
は
、
か
わ
い
い
な
あ











んっ!!

たっ

たっ



あはっ

あはっ



たっ

ちっ



あはっ

あはっ

あはっ



んっ

グッ

グッ
グッ



ああっ...



ああっ...!!

グッ

あっ…

!!

あ
っ
っ

ト
ロ
リ

ト
ロ
リ

ト
ロ
リ



子供が出来ることは稀

その種族の違いが
一時の関係に
また都合のいいものだった
事に気付いたのは

もう…

しばらくたって
からのこと

誰かに
見られたら
どうするの？

見つかっても

君とボクなら
皆
祝福してくれると
思うけどなあ

でも

何言ってるのよ

あなたは…

それでもよかった

だって私は

好きだよ

君のこと

あなたのことが

好きだったから

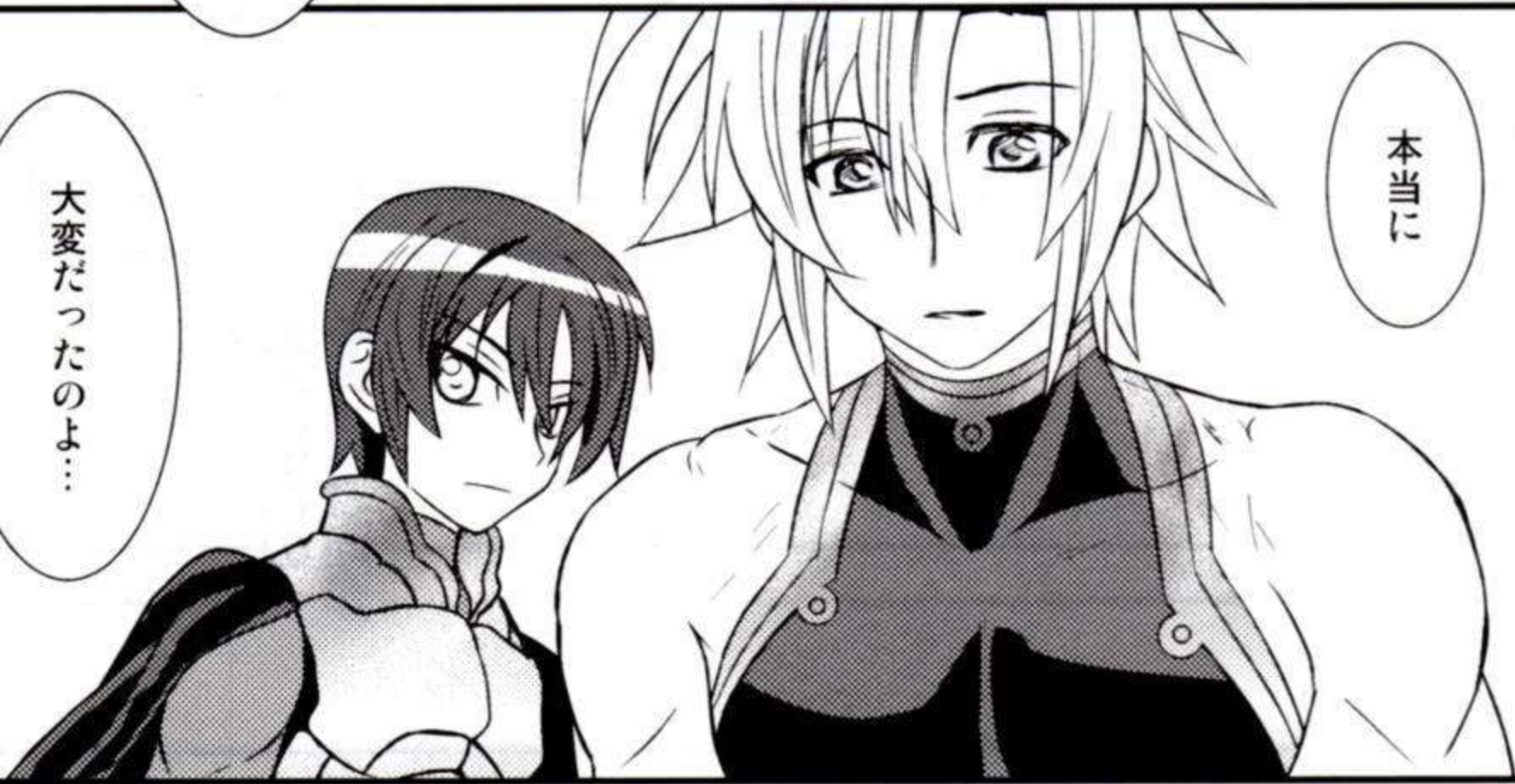
鳳凰学園 外海獣襲撃事件後

二人とも
何も言わずに…
どこ行ってたのよ!

何も知らないから?

本当に

大変だったのよ…



…
二人とも無事に
帰ってきてくれて
良かった…

どうして
そんな風に
ボクを…



おかえりなさい

どうしてそんな…
どこまでも優しい目で
ボクを見る？

大嫌いだっただのに

ボクは君の
そういう所が

16

牙樹 志津華

青龍組トップの才媛

魂獣と能力
雰囲気からか

『荊姫』と
呼ばれている



他者に対する
警戒が強いのか
呼び名の通り
刺々しい態度を
取ることもあるが

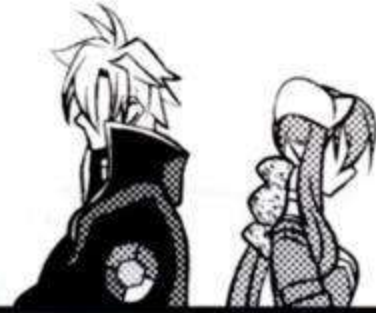


一度信頼した
相手には甘い

心配性が過ぎる所が
欠点ともいえる

真面目で
真っ直ぐで
純粹で

それこそ
『お姫様』のような

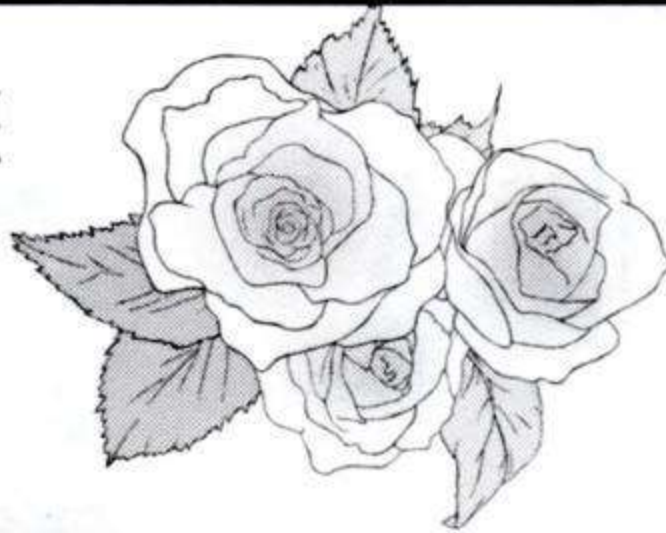


『王子様』を
演じているだけの
ボクと
反対の存在

きっと
大切に
育てられたのだろう

美しい花

だから



嫌いだったんだ

壊して
しまいたくなった

ボクの
持っていないものを
持っている君を



それこそ
真面目で純粋な人だから
慣れていなくて

落とすのは
簡単だった



優しい人だから

ボクの言うことは
何でも
聞いてくれるのも
好都合で

時々
自らは

学内で
そういう行為に
及ぶほどに

彼女の倫理観は
崩れていった





清らかだった君が
自ら汚れていくのを
見るのが楽しかったんだ



拒むこともあったけど
それはただのふりで

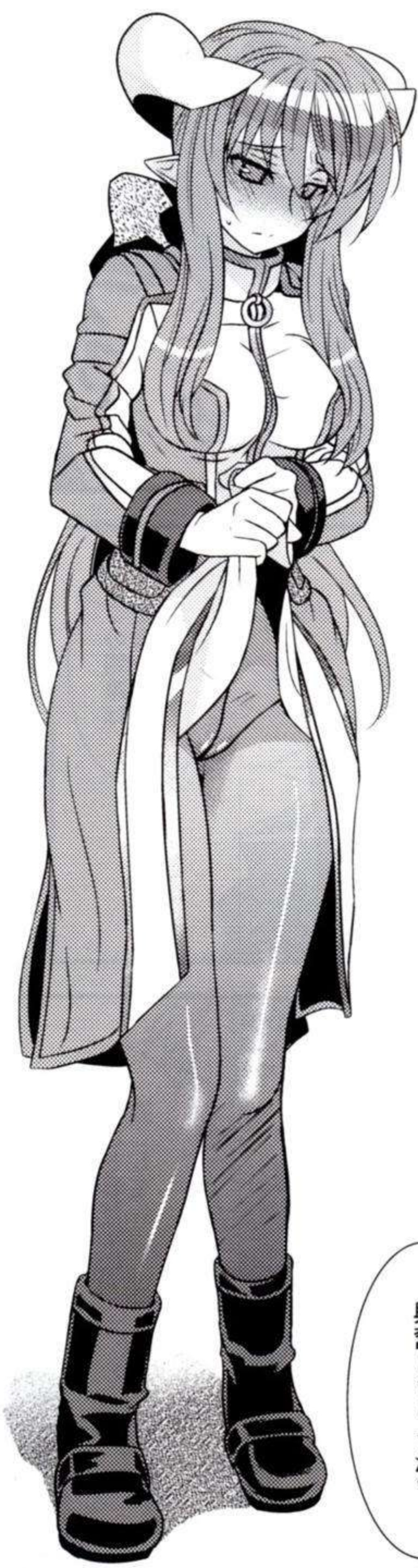


結局はいつも
ボクの言うことを
聞いてくれて

最後には
悦んで…



ボクは君をそういう人にしてしまったんだ



嬉しいよ



本当に
言うこと
聞いてくれたんだ



!!

ぬるっ



こんなに
濡らして

誰かに
見られるかもって
想像して

興奮しちゃった？



っ…!!

盗撮とか
されてないと
いいねえ

!!

これ
この前
没収した写真



この制服は
間違いなく
君だね

…!!

他にも
沢山あるよ

常に
狙われてるんだ
君は

麗しき
青龍組の姫



もしこんな…
下着を着けずに
過ごして

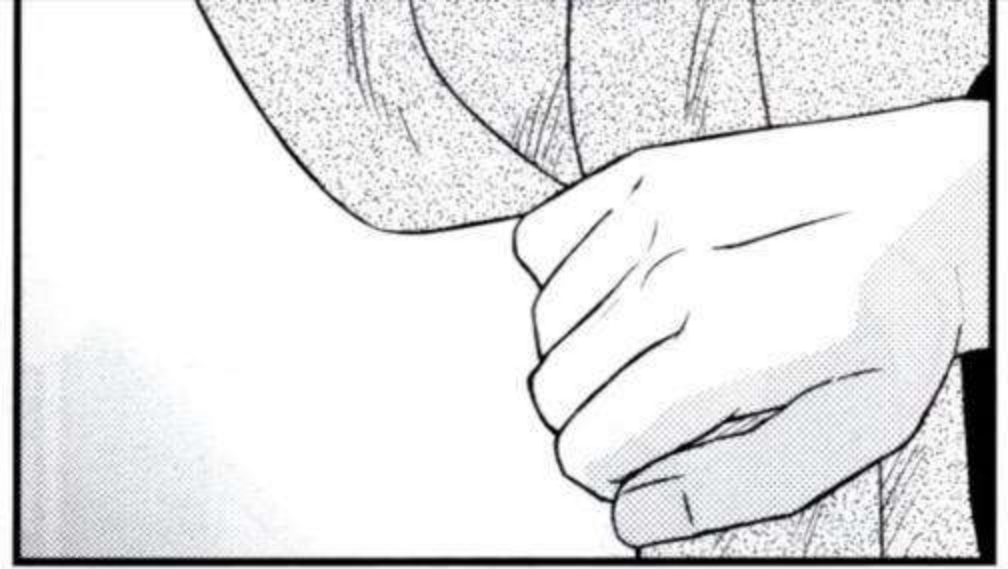
ぐっしよりと
濡らしている所が
撮られて

皆の憧れの
副会長さんが
いやらしい子だって
バレてしまったら

ぐちゃっ

どうなって
しまうんだろうね







やめっ…!!

ちよっと!?



その状況に

興奮してたんだよね
君は



誰かに
見られてしまう
かもしれないって



なっ…!! どうして!?

構わないよ

ボクは



こんなの
見られたら

あなたも
困るでしょう!!



まあ

どうして…

こんなこと…

この時間に
ここを通る者は
まずいなって
わかっててやってるけど



ご自慢の優秀な息子が
そんな事しかすのも
あの人への
復讐になるかなとか

どうせもうすぐ
この学園ごと…とか

ははっ
どうして
だらうねえ



きゅん

!!



アーン...

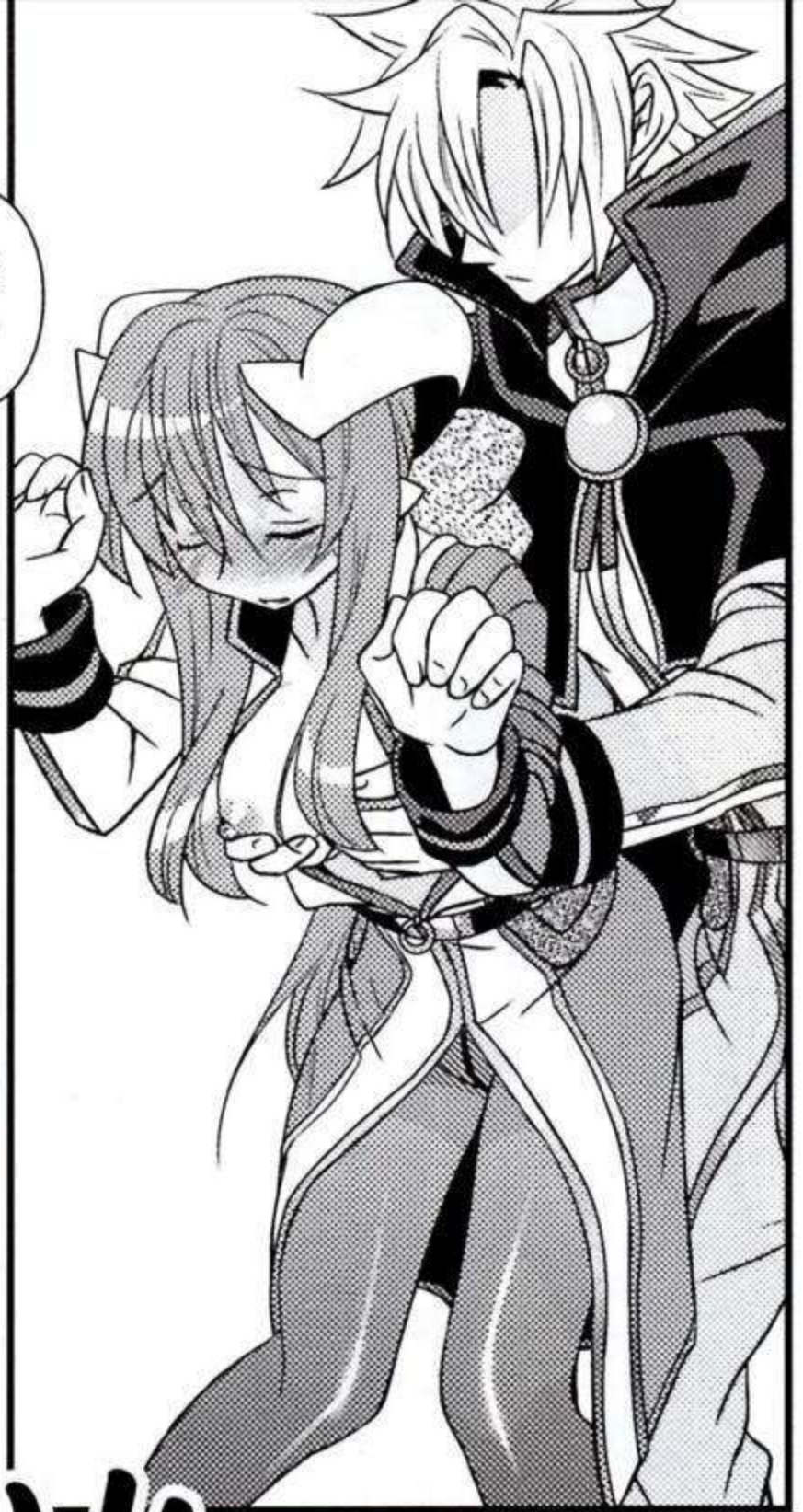


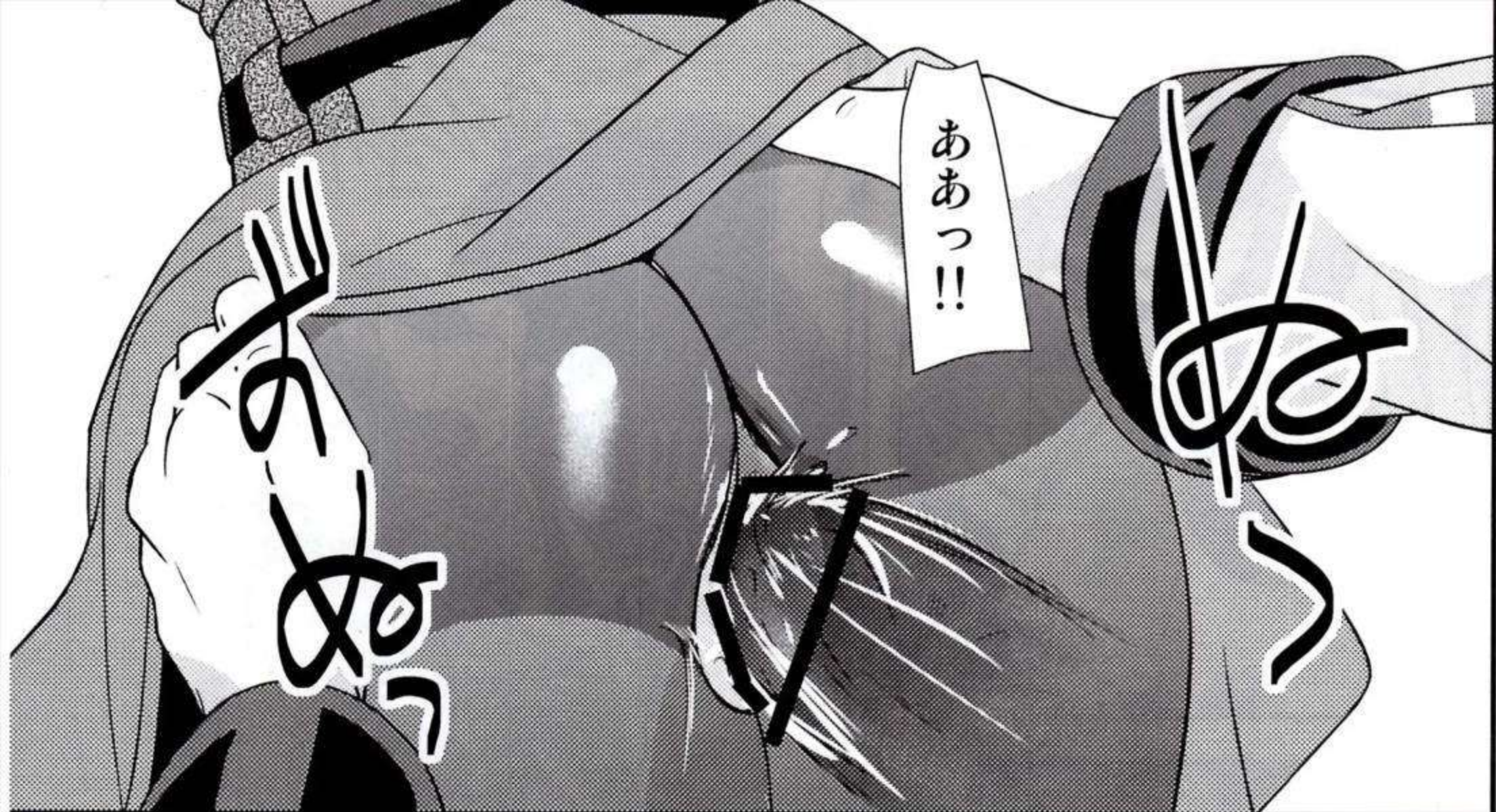
あっ

あっ



うう...!!





あつ!!

あつ

あつ



あつ...

あつ!!

あつ



あつ

だめっ

あつ!!

あつ!!



あっ

んんっ



ずず

ずず

ずず



あっ

うっ…

ずず



いやあああっ!!

あっ

あっ!!



ズ
ク
ン





そうやって
君を弄んだあげく
捨てていったんだ
ボクは

だから君は
ボクを
待っていては
いけなかったんだ

ボクは君に

ひどいことばかり
していたと思うよ

帰りを待っていた
必要も
優しくする必要も

まったく
ないんだよ



…
それに

本当のことを
言うからね

君の…

生命すら



君の…

奪っていた
かもしれないと
いうのに…



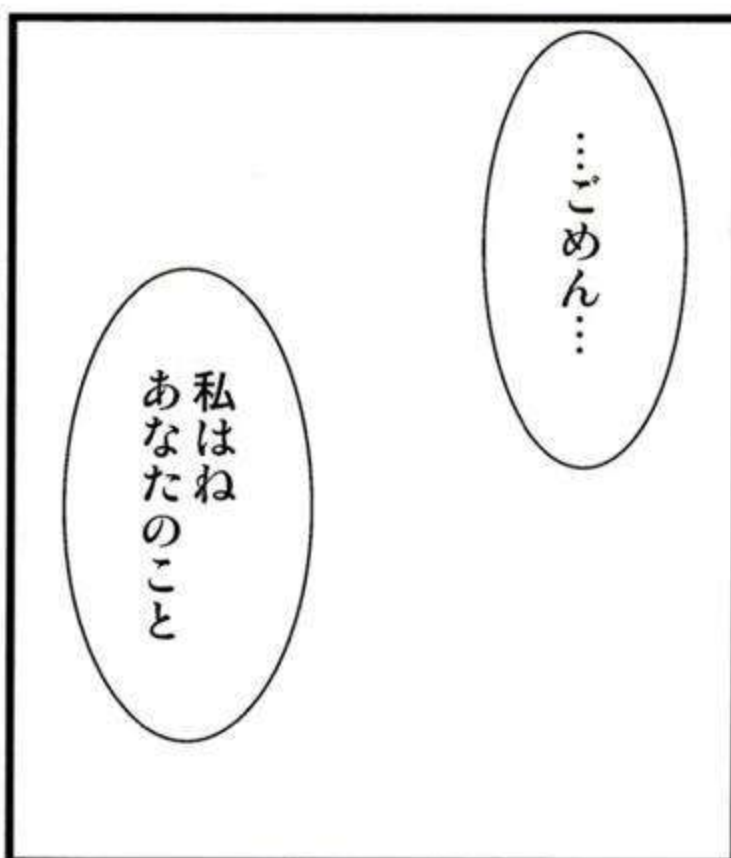


あなたが
本当に
私を好きでいた
わけではなかったこと

何を!?
君は
何を
知って...!?



わかって
いたもの...
!!

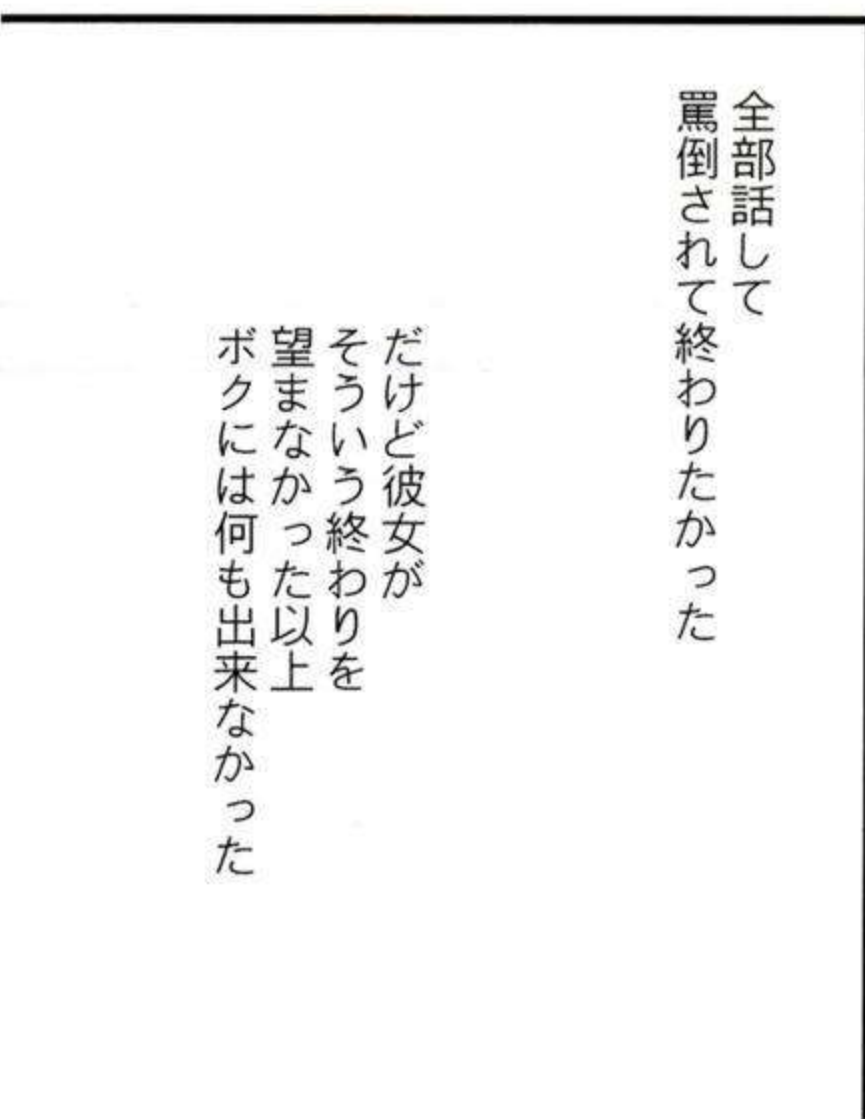


私はね
あなたのこと

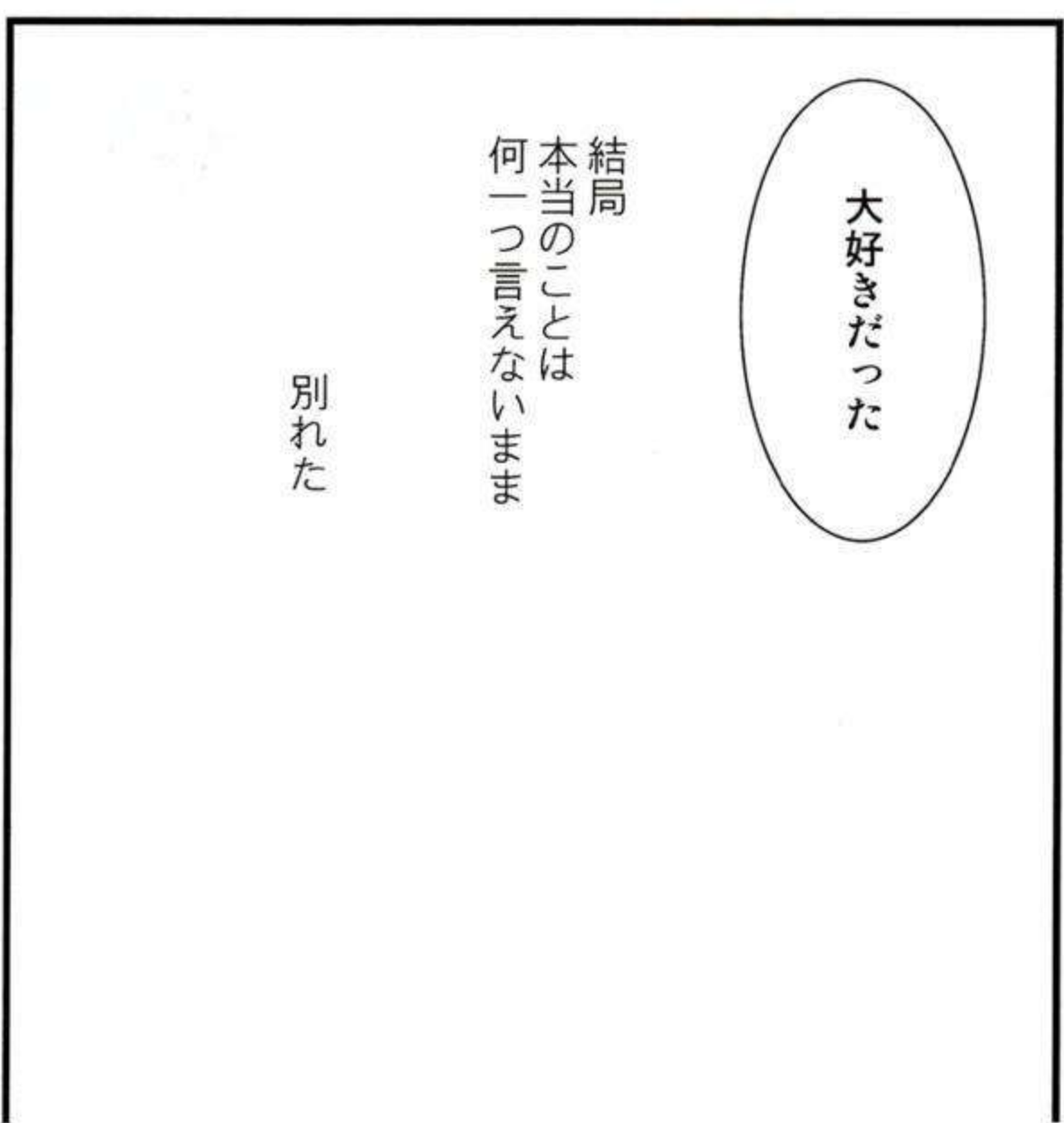
...ごめん...



だから...
もう...
この



全部話して
罵倒されて
終わりたかった
だけ
けど彼女が
そういう
終わりを
望まな
かった
以上
ボクに
は何も
出来な
かった



大好き
だった

結局
本当の
ことは
何一つ
言え
ない
まま

別
れた



どうして君が

こんな所に...!?

どうして、
って

彼女も もう
この先ボクのこと
無かったことに
忘れるつもりな
のだらうと
思っていた

だから



二人のことが
心配だったの

それだけよ

こんな事になるなんて
まったく予想して
いなかった

外海





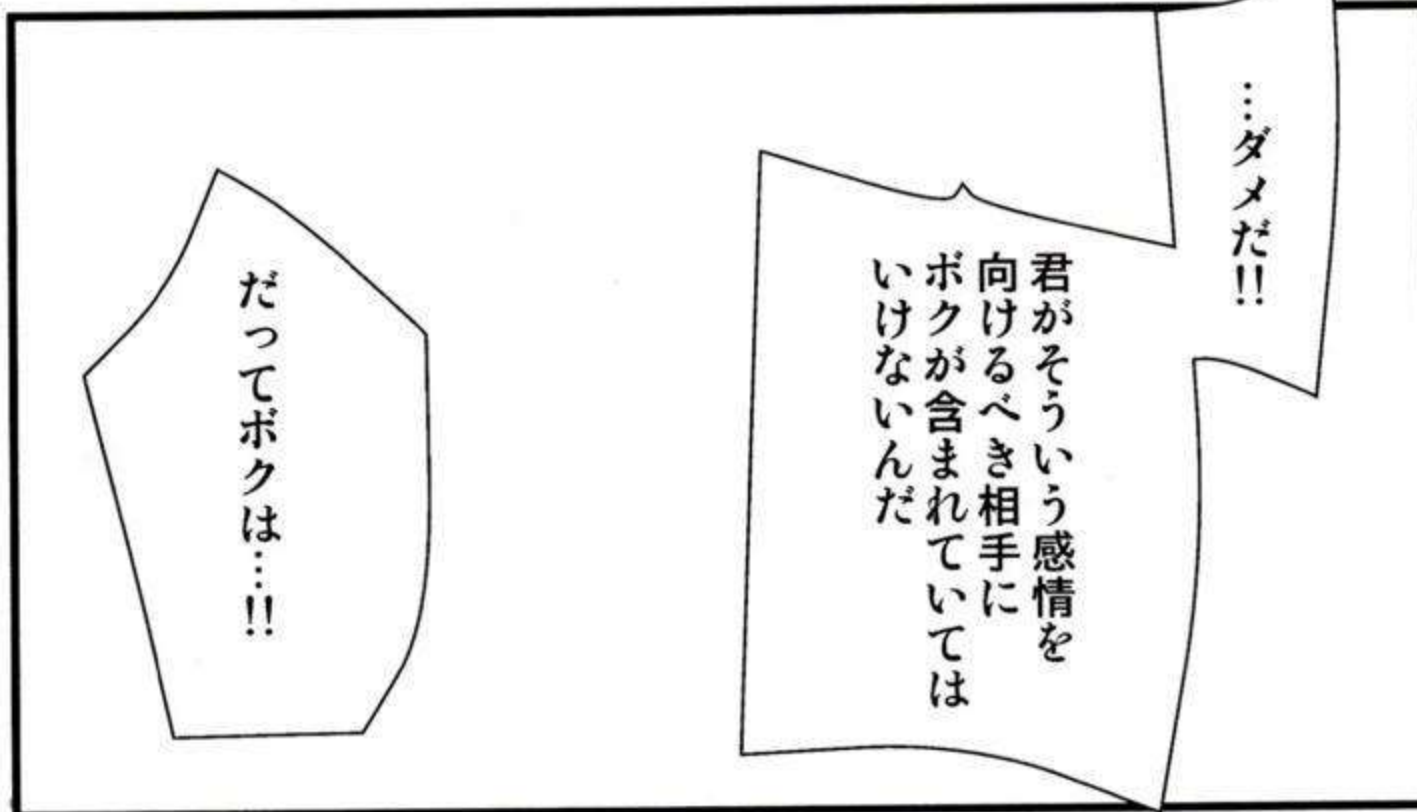
実際に見て
安心してきたいから
追って来たの

だからこれは
私一人のわがまま



二人が無茶して
倒れてたらどうしようとか

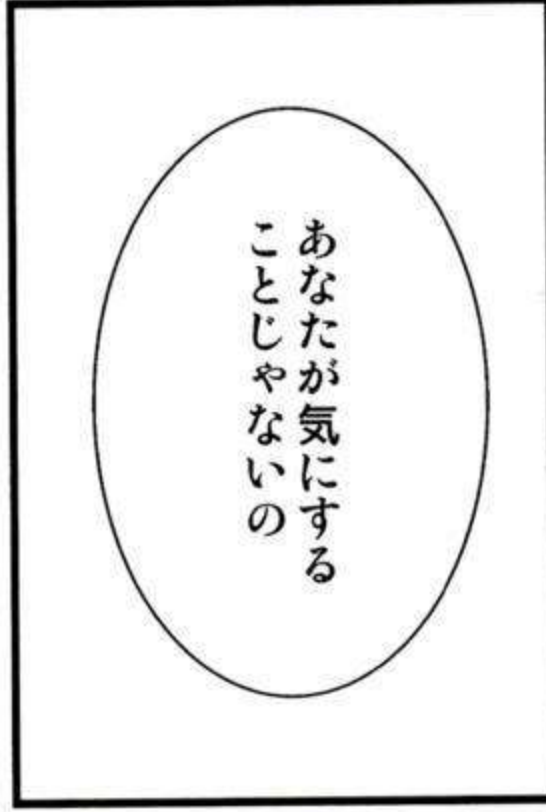
一度想像し始めたら
頭から離れなくて



だってボクは…!!

…ダメだ!!

君がそういう感情を
向けるべき相手に
ボクが含まれていては
いけないんだ



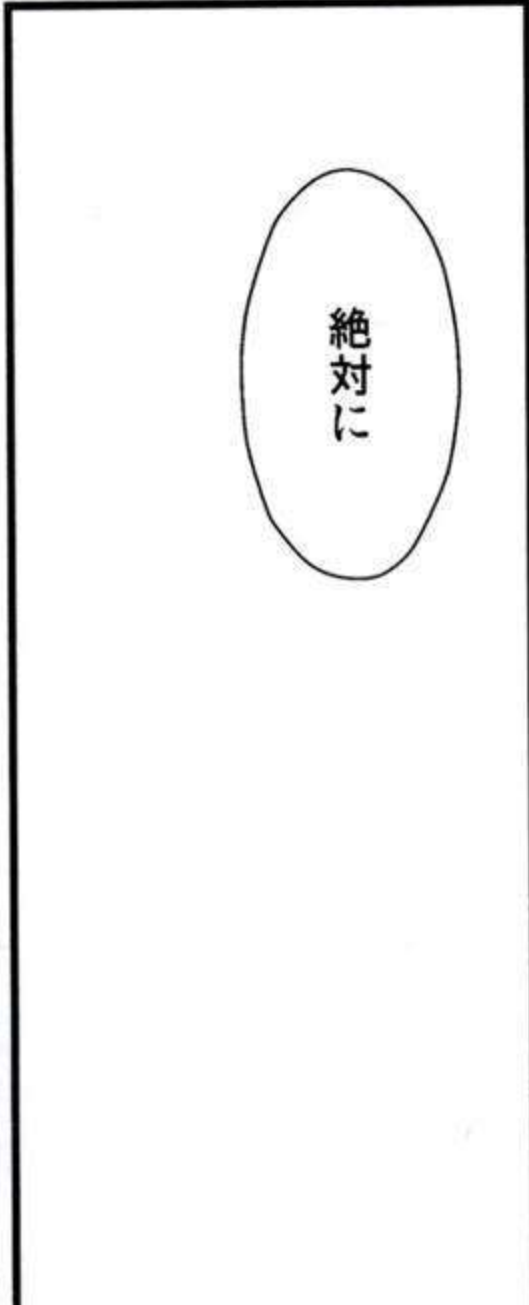
あなたが気にする
ことじゃないの



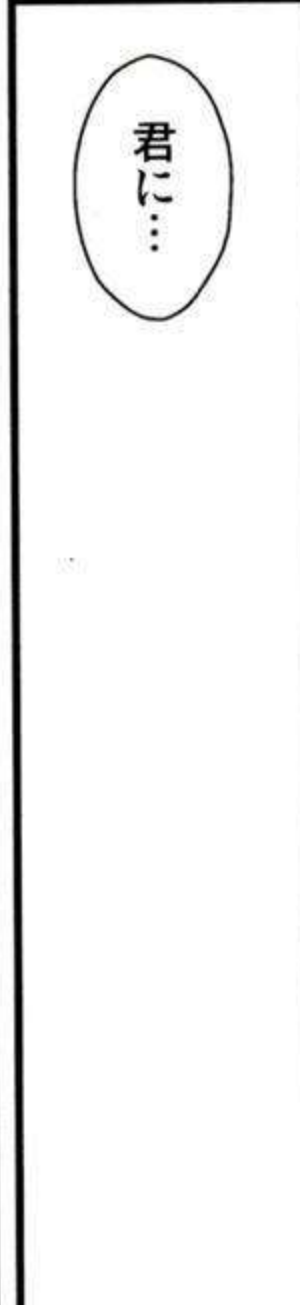
許されないことを…



おかえりなさい



絶対に



君に…



あ
っ
...



あ...
え...



震えてるわ
大丈夫？



ごめん...
ボクはまだ...
君に...

本当のこと
何も...
言えないみたいだ...

急に

がく

何の話か
わからないけど

言えないなら
言わなくていいわ

君に嫌われて
しまうのが

怖くなった

私からも
何も聞かない

ボクは…

ごめん…

ごめん…

どこまで
勝手なんだろう

落ち着いて…

結局ボクは
彼女を街に
帰すことが
できなかつた

そして君の優しさに
すぎる

最低だ

荊

君の優しい所が好きだとか
ボクに甘い所が好きだとか

今更そんなことを
想うのは
許されるのだろうか



悪い夢を
見るんだ

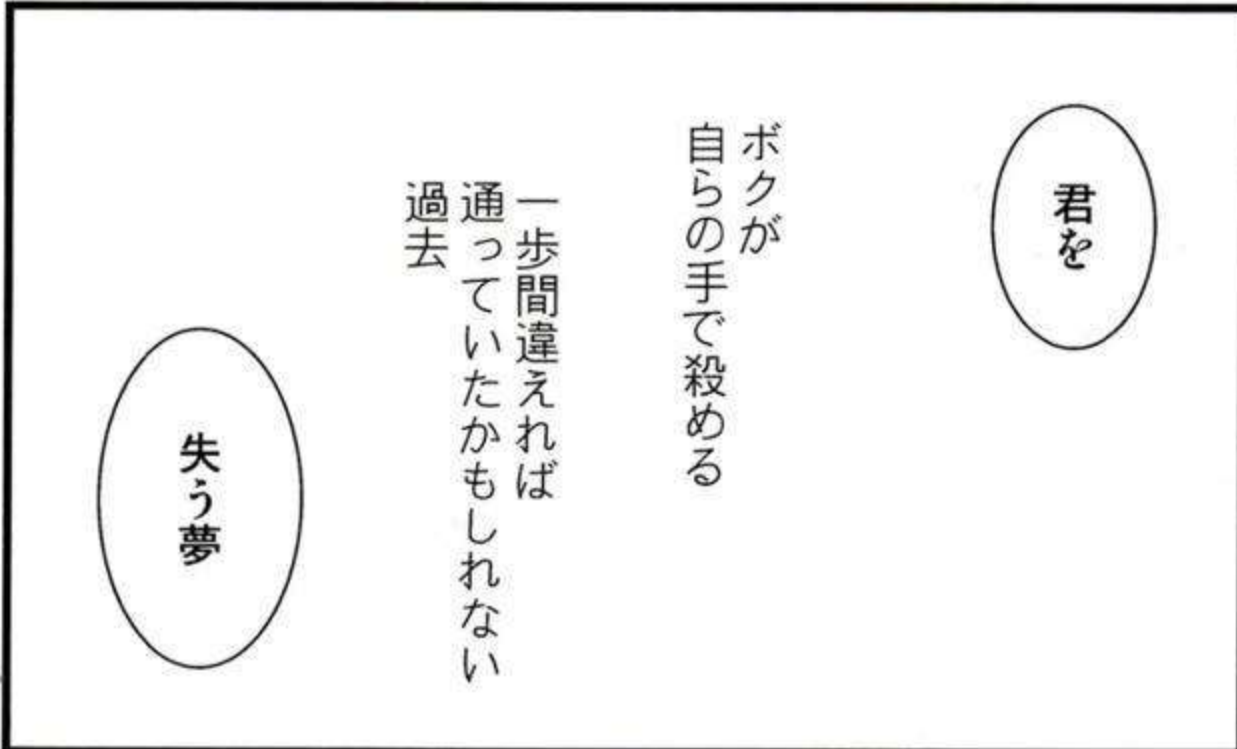


君を

ボクが
自らの手で殺める

一步間違えれば
通っていたかもしれぬ
過去

失う夢



怖いんだ

だからなの？

こうやって甘えてきて…

うん
そうだね



触れることで
君の存在を
確認したいんだと思う

私ね

あなたへの
そういう感情は全部

捨ててしまう
つもりだったのよ

余計な感情は
外海探索の
邪魔になって
しまいそうだし

なのに

そんなこと言われたり
こんな風に
甘えられてしまったら

……

いじわるな人ね

ぎゅっ



おき、おき

おき、おき



んっ!!

ちゃ



ん...

どれくらい
ぶりだっけ



…!?
あの頃のあれは
ボクに合わせてただけ?

はあっ

そうなんだ

もしかして
今も

きゅん

嫌だったりする?

ふん

なら
良かった

あっ

おん

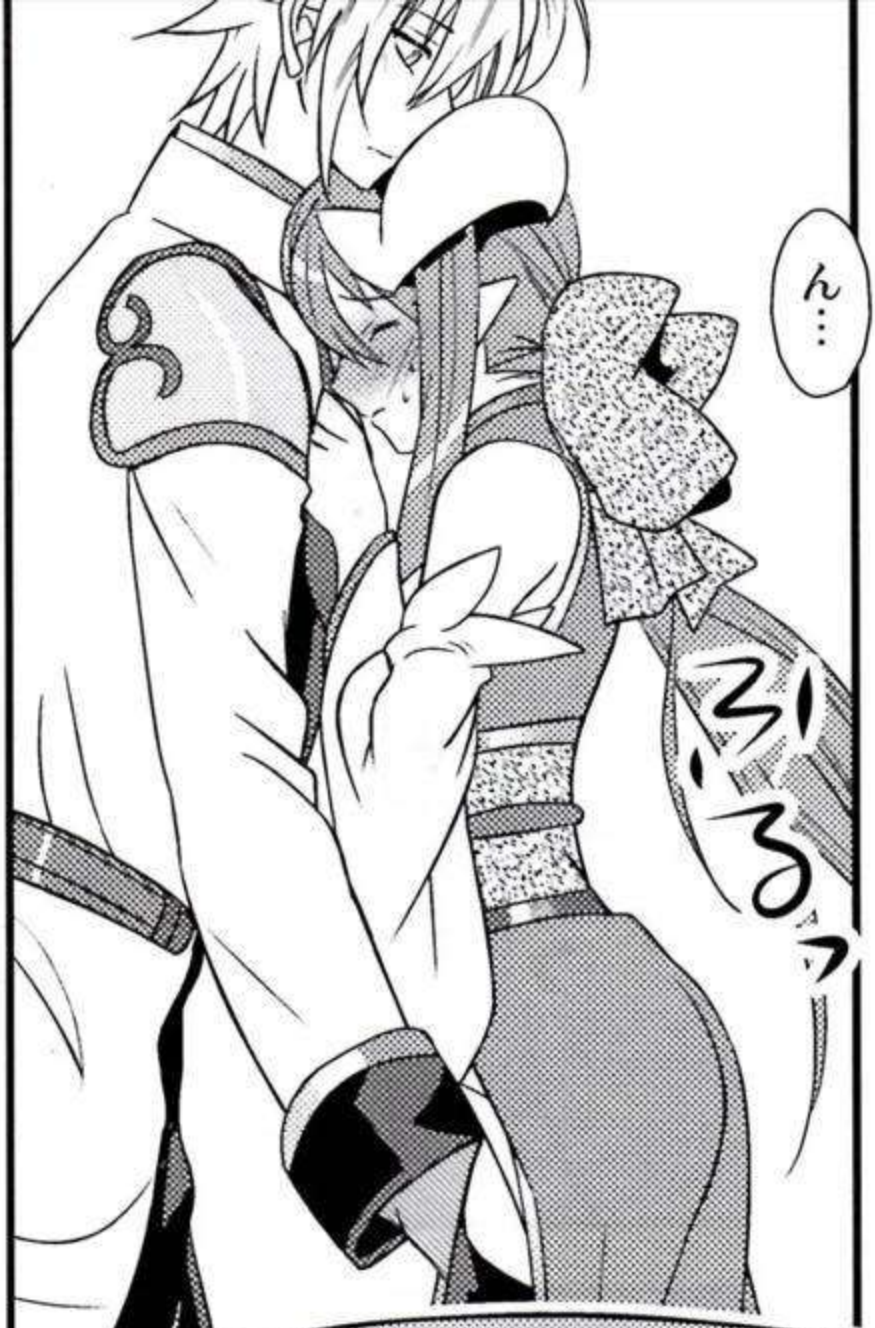
…そんなことない…





フク...

入れてもいい？



ズンズン



あ...



ちやん



ズ
ツ
ツ

んんっ!!

ぬ
ちゅ



ん…

嬉しいんだ…

今受け入れて
もらえたこと

ぬ
ちゅ

ぬ
ちゅ



あっ…

ず
ず





ズン

ズン

今は
どっちでもいいか...



こごいうこと
好きではあるのか？

ズン
ズン

ズン
ズン



ズン

ズン

ズン...





あっ!!

あっ!!

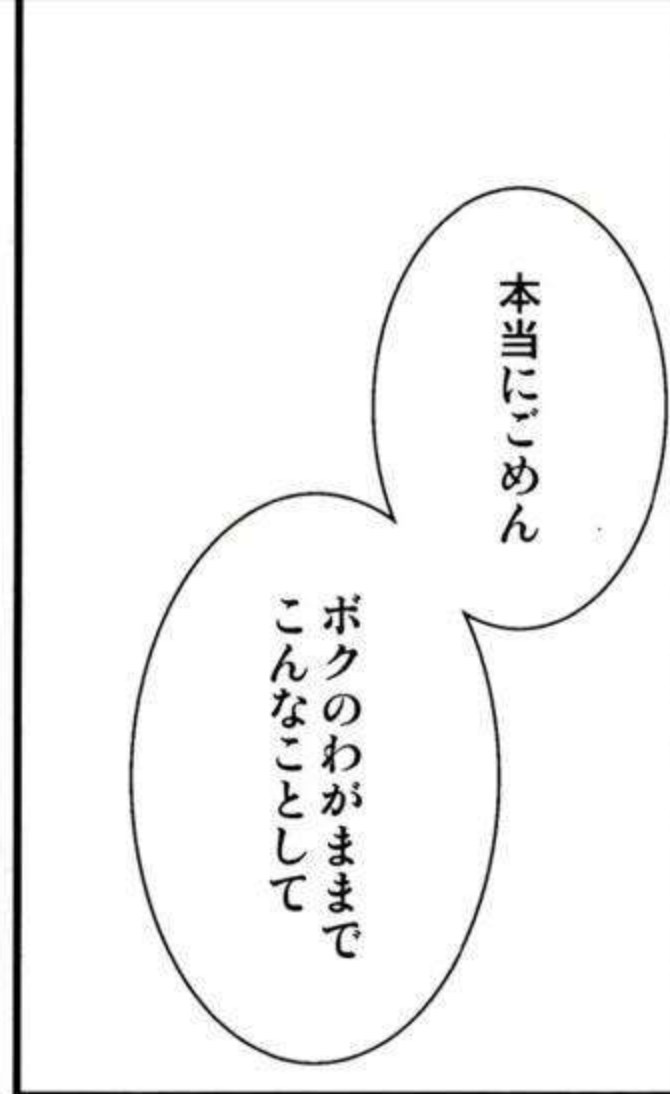
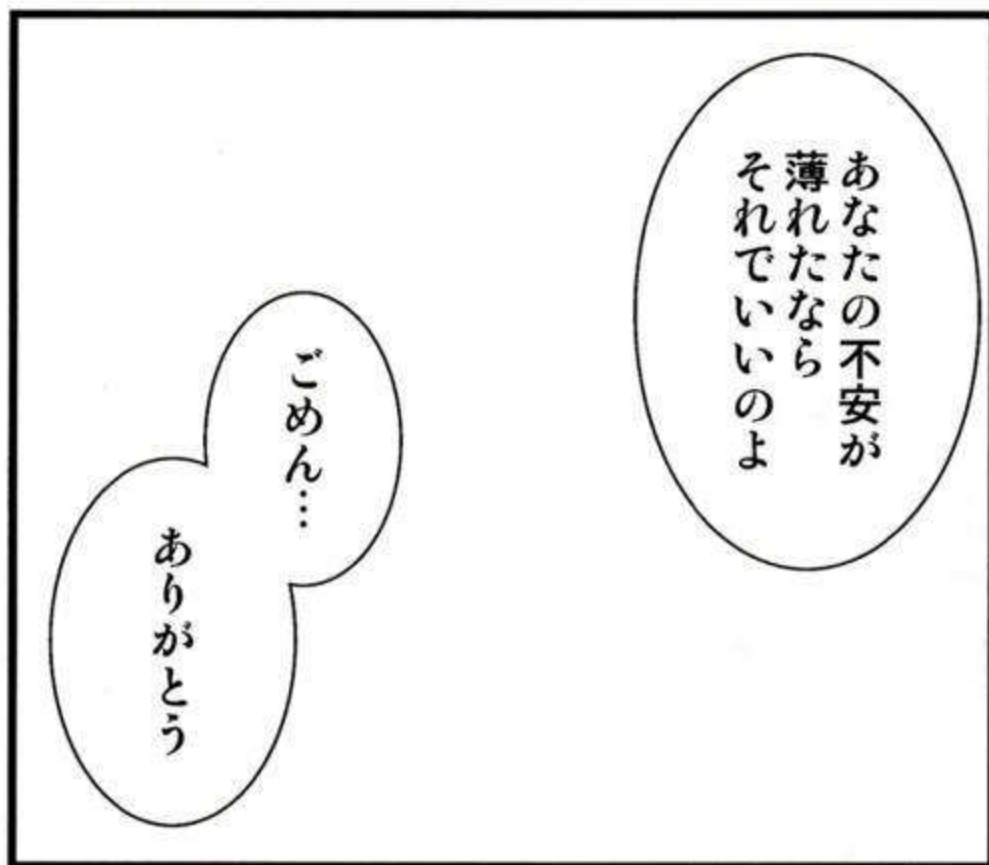
あっ!!

あっ!!

あっ!!

あっ!!

あっ!!



…そこまで言えない
くらいなもの

きっとその
許されないことと
いうのを聞いたら

怒ったり
軽蔑したりするかも
しれないし

やっぱり
許さないでしょうね

だけど

それでも

私から
あなたの側を
離れることはないわ

安心して

君が側にいる限り
この先もずっと
悪夢は見続けるだろう

ありがとう…

これはボクが自ら
招いたことだ

巻き付いて
外れない
この荊と共に
ボクは生きていく

どうもこんにちは。ひかべさくほです。

『神羅万象チョコ ゼクスファクター』より、シヅカの本というかカナトの本というか
とりあえずこの二人の本です。

描きたい妄想エピソードを盛ったり削ったりした結果、
このような誰向けだかわからない本になりました。

カナトがひどい人ですみません。

本編の学園卒業後のエピソードで追いかけてるほど
シヅカはカナト(とケンケン)のことを大事に思っているのに、
カナトの方は生徒が被害を受けるかもしれないのをわかってて学園襲撃してるあたり、
カナトにとってシヅカはどうでもいい他人の一人だったのかなーとか、
王子と姫の対比とか、いろいろ考えてるうちにこうなりました。

卒業後になってようやくカナトにとってシヅカが大事な人になったり、そのせいで悩んだり、
そういうのを描きたかったんですが、エロとの割り振りで迷った結果、なんだか中途半端ですみません。

この二人(とケンケン)が大好きで、まだ描きたい話は色々あるので、
同人誌かWEB上でかはわかりませんが、そのうち発表したいと思います。

本文の仕上げが一部間に合ってなくてすみません。
今出さないとずるずるといつまでも出せないと思ったので、強行的に発行しました、ごめんなさい。

そんな訳でいろいろ問題のある本で申し訳ありませんでしたが、
最後までお付き合いありがとうございました。

また次の本でお会いできたら嬉しいです。

発行日／2011年12月31日

発行元／ライト・ガーデン (ひかべ さくほ)

印刷所／有限会社あかつき印刷

(表紙／関西美術印刷株式会社)

連絡先Eメールアドレス／light@marie.saiin.net

WEBサイト／<http://marie.saiin.net/~light/>

無断での転載・複製・複写・WEBへのアップロードなどを禁じます。

[ライト・ガーデン]は

創作とその他色々の男性向けで活動しているサークルです。

イベント参加は夏冬のコミックマーケット中心。

サークル自体での通信販売などは一切行っていませんが、

一部の本に関しては「とらのあな」「メロンブックス」等に

委託していることもあります。



ライト・ガーデン



ライト・ガーデン